

学校関係者評価委員会報告書

学校法人瓶井学園日本メディカル福祉専門学校は、平成29年度学校自己点検・自己評価結果に基づいて、平成30年6月16日に学校関係者評価委員会を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

平成30年7月30日

学校法人瓶井学園

日本メディカル福祉専門学校

学校長 瓶井 修

1. 学校関係者評価委員

氏名	所属
岡本 高博	社会福祉法人 西成区社会福祉協議会 本校卒業生
北野 暢隆	社会福祉法人若葉会保育園こどものくに 園長
蔵敷 重壽	元大阪市立都島工業高等学校 校長、 元大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
山崎 康祥	大阪府臨床工学技士会 理事 (当日急用により欠席)
瓶井 修	日本メディカル福祉専門学校 学校長
堀川 茂野	日本メディカル福祉専門学校 教務部長
中道 和則	日本メディカル福祉専門学校 教務課長
山口 由起子	日本メディカル福祉専門学校

2. 議事報告

項目	評価・意見
(1)教育理念・目標	「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 保護者懇談会を平日の設定では保護者が仕事の都合で時間が取れないこともあり、学生に何かあった時に、密に連絡を取るようになっている。
(2)学校運営	「教育活動等に関する情報公開が適切になされているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 適宜見直す必要があるため、今後も学校関係者評価委員会において、公開項目の検討を重ねるとの方針が決定した。 「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 事務側と教務側で意見交換を行い、今まで以上に連携をとってスムーズに業務の効率化が行えている。
(3)教育活動	「キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラム教育方法の工夫・開発などが実施されているか」という点について 「関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか」という点について

	<p>臨床工学科とこども福祉学科に関しては、カリキュラムは厚生労働省の定めによるもので既存の補佐的な役割としての実習となる。</p> <p>臨床工学科：正規カリキュラム以外の特別講義を実施した。昨年度に年間スケジュールを決定し、1年生と3年生に対し。今年5月に行った。昨年度実施の同窓会でつながりができ、複数の特別講義は卒業生に依頼した。臨床工学科は特別講義を広げていくとともに、昨年と同様に臨床実習前に卒業生のいるクリニックにて患者さん対応についての2年生を対象に模擬実習を行った。たくさんの卒業生の方に集まっていただき、指導を受けることができた。今年度も12月に実施する予定である。またそれ以外にも循環器や血液浄化に関する学会にも学生を参加させ、臨床工学技士の先輩方が研究発表する姿をみせる事で自分自身の将来像を描く形になる。</p> <p>こども福祉学科：カリキュラムとは別に関連施設での実習を行っている。</p> <p>「関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか」という点について</p> <p>臨床工学科・こども福祉学科：職業教育の一環として。大阪府が行う産学接続コースに両科共に昨年度も申請を行い認定された。</p>
(4)学修成果	<p>「資格取得率の向上が図られているか」について、やや不適切との自己点検・自己評価報告を行った。昨年度は国家試験の合格率が全国平均を下回る結果であり、個人面談の充実や担任だけではなく、全教員で学生に関わっていく取り組みを実施する。さらなる指導の徹底をおこなっていく。</p> <p>学生・保護者との面談を充実させ、目標設定、将来像の再確認等を行い、就学・資格取得意欲の向上を促す取り組みを行うとの方針が決定した。</p> <p>「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」、「卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>卒業生が所属する同窓会の組織を充実させ、卒業生との交流をはかることはもちろんのこと、卒業生と在学生との交流を積極的に行う。</p>
(5)学生支援	<p>「学生の健康管理を担う組織体制はあるか」、「学生への生活環境への支援は行われているか」、「保護者と適切に連携しているか」の3点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>今年度から、定期的に保護者懇談会の実施や連絡を密にとり、保護者との連携の場を作っていくとの方針が決定した。</p>
(6)教育環境	<p>「学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか」、「防災に対する体制は整備されているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>訓練の実施回数が少ないので回数を増やしていくとの方針が決定した。</p>
(7)学生の受入れ募集	<p>月一回のオープンキャンパスイベントの実施、学生の活躍する姿のポスターを作成し、高校訪問を行っている、特に問題なし。</p>
(8)財務	<p>特に問題なし。</p>
(9)法令等の遵守	<p>「自己評価の実施と問題点の改善を行っているか」、「自己評価結果を公開しているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p>

	平成29年度は、ホームページにて「自己点検・自己評価報告書」、「学校関係者評価委員会報告書」の情報公開を行った。今年度も7月31日公開を行う。
(10)社会貢献・地域貢献	特に問題なし。
(11)国際交流	「学習成果が国内外で評価される取組を行っているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 学習成果が国内外に伝わるよう、ホームページを充実させ、情報発信を強化するとの方針が決定した。